

「がん患者の QOD 向上に向けた具体的な取り組みのあり方について ～医療ソーシャルワーカーの役割に焦点を当てて～ へご協力をお願い

【目的】

がんの罹患者数は増加を続けており、現在は二人に一人ががんに罹患するなど、最早「国民病」と言われる状況を呈している。その中で、特にがん患者の終末期における「死の質 QOD」のあり方は、これまで疾患や身体機能面からの「個体のあり方」として捉えられてきた。本研究では、そのような「身体的ケア」や「心理的ケア」のあり方だけではなく、患者を最後まで取り残さない「社会的ケア」の必要性とそのあり方について提起する。そのことを通して、臨床ソーシャルワークの独自固有性を担保する、価値・原理・技術の一体的な理論構築を目指す。

【研究の対象】

別府医療センター 医療福祉相談室に所属する MSW

【研究の目的・方法】

目的：MSW との援助関係とがん患者の QOL 及び QOD の向上の関連性の検討

方法：下記に該当する MSW へのインタビュー調査

- 1) 社会福祉士の国家資格を有する方
- 2) MSW としての経験が 3 年以上の方
- 3) がん患者支援（特に終末期支援^{#1}）に従事した経験がある方

^{#1} ここでの終末期支援とはがんの積極的治療（手術・放射線、抗がん剤）が終了したことを指します。

【研究期間】

倫理審査委員会承認日より令和 7 年 11 月 30 日迄

【外部への試料・情報の提供について】

試料・情報の一部は共同研究者である衣笠一茂（臨床ソーシャルワーク研究所（CSWRI）・Kinugasa & Associates. 代表）へ提供する

【個人情報の取扱いについて】

本研究は「ヘルシンキ宣言」および「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に従って実施します。個人情報の漏洩を防ぐため、臨床研究に関する氏名等の個人情報は削除し、第三者が個人情報を閲覧できないようにしております。また、本研究の実施過程、および結果の公表（学会発表、論文発表）の際には、被験者を特定できる情報は一切含まれないように配慮しています。

【医学上の貢献】

終末期ケアにおいて身体的ケア・精神的ケアだけではなく、社会的ケアの概念を持ち込むことにより、より全人的かつ包括的な終末期ケアの在り方についての先駆的な実践方法を提起できる。

【問い合わせ窓口】

本研究に関するご質問がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
情報等が当該研究に用いられることにご了承頂けない場合には研究対象としません
ので、下記連絡先までお申し出ください。その場合でも被験者に不利益が生じるこ
とはありません。

研究責任者

国立病院機構 別府医療センター 医療福祉相談室
氏名 井上 祥明
連絡先：〒874-0011 別府市大字内かまど 1473 番地
電話：0977-67-1111 FAX：0977-67-5766